

車内の金城学院大学

154限目

「機能形態学」

「「痛い痛い飛んでいけ！」はホント!?!」

〔痛みの抑制系〕

小さな頃、「痛い痛い飛んでいけ!」というおまじないと一緒に患部をさすってもらった人は多いと思いますが、実は、これは本当に効果があることなのです。痛覚、触覚、温度覚などの様々な感覚は、神経により皮膚などの末梢から脊髄を通して脳に伝えられ、感知されます。脊髄には体中の様々な信号が入ってくるため、例えば、針でさされたような鋭い刺激の信号が脊髄に入ってきた際に、さするとといった触刺激の信号と一緒に入ってくると、触刺激の信号が優先されて脳に伝わり、痛み刺激の信号が邪魔されて痛みが紛れるのです。さらに、脳から「痛みを和らげなさい」という指令が出て、痛みを軽減する物質が放出されることも知られています。また、さすってくれる人の愛情を感じたり、その記憶などによっても、痛みの程度は変化しうるのであるのです。

身体や脳の仕組みを知り、人の健康を支える。それが、薬学部 薬学科。

強く、優しく。



金城学院大学